

はんの梢

学校教育目標

ゆたかな心 たくましい力

R7 重点目標 み が く

学校だより 10 月号



大井川東小学校

R7. 10. 20



検索【大井川東小学校】

後期が始まりました

1 年の半分が終わり、後期がスタートしました。実りの秋です。これまでの暑さもやわらぎ、活動しやすい季節となりました。子供たちはこれまでに自分の目標をもって「自分も伸びよう みんなで伸びよう」と取り組んできました。ますます成長していく子供たちの姿が楽しみです。



さて、この頃話題になった日本人のノーベル賞受賞。ノーベル賞は世界で最も権限のある国際賞で、人類に多大な貢献をした人々に贈られるものです。それを受賞した京都大学特別教授の北川進氏がインタビューを受けた時、こんな話をしていました。「始めた当初は誰も興味をもっていなくて、研究がうまくいき始めた時も誰にも受け入れてもらえなかった。しかし、自分がこれだと思ったことにあきらめずに研究を続けてきた」と。多くの人は自分の考えを否定されたり、受け入れてもらえなかったりすると、間違っていたかもしれないと諦めがちです。初めは自信があっても、だんだんと自信がなくなっていくものです。北川氏は違いました。多くの人に受け入れてもらえなくても自分を信じ、粘り強く研究を続けました。長い年月はかかりましたが、その結果、それがやがて多くの人々に理解され、今回の受賞につながったのです。また、北川氏は子供たちへ「幸運は準備された心に宿る」というメッセージを贈りました。「育っていく過程で、いろいろな経験をするけれど、それを大切にすることで将来の花が開くといいたい」というメッセージだそうです。自分の研究が認められない時期もあったけれど、自分の感性を信じること、チャレンジすること、興味が融合して自分自身の方向性を支えたと言っています。

しずはまっ子も北川氏のような強い意志をもって、色々なことに挑戦し続けてほしいと思います。

子供は多くの可能性をもっています。その可能性を見つけのばしていくのは自分自身です。見つけることもそう簡単なことではないでしょう。しかし、少しの困難にも負けない強さをもち、自分の中にある一番星を見つけられるように、そして、その一番星を輝かせることができるように何度も何度も挑戦し続けてくれることを願います。これからも仲間と一緒に多くの体験をし、成長し続けてほしいと思います。

私たち大人は、そんな子供の応援団であり、よき理解者となって、一緒に子供の成長に携わっていきましょう。



そうだ、学校へ行こう！

10月21日(火) 1～3年生

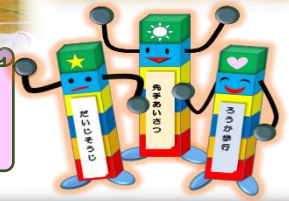
10月24日(金) 4～6年生

授業参観日です。子供たちの姿をぜひ、ご覧ください。また、当日、アルミ缶、古紙回収等行っています。子供たちの教育活動へつながる資金集めです。ご協力ください。

後期始業式・「のぼそう」のステージ後半



「のぼそう」のステージのじまんフェスティバル



それぞれの自慢をみんなで楽しみました。温かなしずはまっ子が集う時間でした。